

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 11日	
愛知県知事 様	
提出者	
住 所	名古屋市東区泉1-22-22 TODA BUILDHING名古屋7階
氏 名	戸田ビルパートナーズ株式会社 支店長 宮村 秀也
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	052-951-5367
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	コニカミノルタ大宝山寮解体工事
事業場の所在地	愛知県豊川市八幡町大宝山1-176
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：682,000,000円
③ 従業員数	12名（2025年4月1日現在 名古屋支店）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 排出経路フローチャートの通り

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 支店長 ↓ 建築部長 ↓ 作業所 ↓ 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・建物解体に伴う廃棄物の分別を徹底。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・上記取り組みの継続実施。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・一般廃棄物が産業廃棄物へ混入させないよう指導。 ・種類ごとの分別を徹底し、できる限り混合廃棄物の排出を抑制。 ・産業廃棄物の分別について作業員に指導。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・上記取り組みの継続実施。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・建物解体に伴う廃棄物の分別を徹底。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・上記取り組みの継続実施。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・上記取り組みの継続実施。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・建物解体に伴う廃棄物の分別を徹底。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記取り組みの継続実施。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者に委託する。 ・再生利用が可能な廃棄物については再生処理業者へ処理委託する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 前年度までの取り組みの継続実施。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【前年度(2024年度)計画】

[illegible]

【今年度(2025年度)計画】

[illegible]

コニカミノルタ株式会社

戸田ビルパートナーズ株式会社

収業還搬業者
アイサン建設(株)

大府市横根町大須廻158番地1

[illegible]

コニカミノルタ株式会社山梨県工部

戸田ビルパートナーズ株式会社

収益型開発者
アイサン建設
大府市横堤町大蔵島155番地1

管理型混合商業物
がれき販売、金蔵くず、廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び焼固結くず、木くず、紙くず、油蔵くず ※石油汚染廃棄物を除く

水田農産物産物取扱所

ダイワツ

大府市横堤町新江15-11

中部県名産品会社

岐阜・愛知
岐阜県岐阜市大府町大字本町字第25

